

社会貢献活動

〈みずほ〉は、CSRの中長期取り組み方針の1つとして「地域・社会のニーズを踏まえた社会貢献活動の推進」を掲げています。この方針に基づき、〈みずほ〉は「社会貢献への取り組みに関する運営基準」において、社会貢献への取組方針や重点取り組み等を定め、グループ一体となって社会貢献活動を推進しています。

社会貢献への取組方針

- 〈みずほ〉は、自らの利益と社会の利益を調和させ、社会を支え社会とともに歩む「良き企業市民」として、社会貢献的責任を全うします。
- 社会貢献への取り組みを通じて社会の持続可能な発展に貢献することは、『〈みずほ〉の企業理念』におけるビジョンを実現し、企業価値創造と発展に向けた基盤になると考えます。
- 社員の社会貢献活動への取り組みが社員の成長、社会性向上等に資するものと考え、積極的に支援します。
- 〈みずほ〉の社会貢献への取り組みに関する企業姿勢や実際の活動について積極的に情報開示するとともに、ステークホルダーとの対話を通じて、社会とのコミュニケーションを密にし、社会貢献への取り組みが社会の常識と期待に沿うように努め、継続的に改善を図ります。

重点取り組み

- 〈みずほ〉の経営資源を活かした活動や地域・社会の発展に資する取り組み
 - 行政やNPO、地域コミュニティ等、活動基盤である地域社会と協働・連携した取り組み
- 詳細は下記ウェブサイトをご参照ください。

<http://www.mizuho-fg.co.jp/csr/local/index.html>

金融教育の支援

〈みずほ〉は、総合金融グループとしての実務知識やノウハウを活かして、初等・中等教育と高等教育の2つの分野で金融教育を支援しています。平成17年度に金融教育の支援を積極的に推進する方針を明確化し、取り組みを進めてきた結果、〈みずほ〉が実施した金融教育の受講者数は、約4万1千人に達しました。また、海外拠点でも、現地のニーズに応じて、幅広く実施しています。

初等・中等教育分野

平成18年度以降、東京学芸大学と共同研究を継続しています。この研究では、〈みずほ〉の「金融」、東京学芸大学の「教育」という、それぞれが持つ専門性やネットワーク等を活用して、金融教育のツールを開発するとともに、金融教育の普及に向けたさまざまな取り組みを行っています。

さらに、この研究の成果を踏まえ、社員が学校で金融教育の授業を行う「出張授業」を実施するとともに、児童・生徒たちの「職場体験の受け入れ」にも協力しています。



共同研究プロジェクトで開発したテキスト

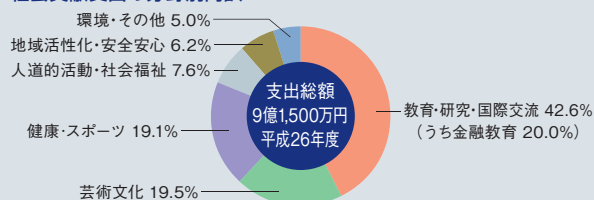


出張授業の様子

高等教育分野

高等教育分野では、次世代を担う高度金融人材の育成を目指し、平成18年度から大学における寄付講義・講座を設置しています。

社会貢献支出の分野別内訳



小学1年生への「黄色いワッペン」贈呈枚数

昭和40年～平成27年 累計 約 **6,222** 万枚



※共同実施社：損害保険ジャパン日本興亜株式会社、明治田舎生命保険相互会社、第一生命保険株式会社

講義・講座には、銀行、信託、証券、資産運用等の総合金融サービスを提供する〈みずほ〉の経験豊かな実務担当者を、講師として派遣しています。また、最新の経済情勢や金融業界の課題なども踏まえたテーマ設定を行うことで、より実践的な講義・講座となるように努めています。



大学での講義の様子

インドでの取り組み

みずほ銀行のインド拠点では、インド準備銀行(インドの中央銀行)が推進する「金融包摂※プロジェクト」の主旨に呼応して、金融リテラシープログラムを実施しています。各拠点は、NGO等と協働しながら、生徒や若者に対して、浪費せず貯蓄することの大切さについて教えています。



インドでの授業の様子

※社会の幅広い層に対する金融サービスの提供

被災地での社会貢献活動

〈みずほ〉では、東日本大震災からの復興に向け、専門的な知見やネットワークを活かし、グループの総力をあげて産業・地域復興支援に取り組むとともに、社員参加型のボランティアや県外避難者への情報提供、金融教育等の社会貢献活動を継続的に実施しています。

〈みずほ〉の森プロジェクト

〈みずほ〉は、津波により甚大な被害を受けた福島県の海岸防災林の再生を目的とした「〈みずほ〉の森プロジェクト」に取

り組んでいます。平成25年4月に福島県、いわき市、防災林所有者と協定を締結し、平成31年3月まで、福島県いわき市で約1.3ヘクタールの海岸防災林の再生に取り組みます。平成27年5月までに2回の植樹活動を実施し、延べ約260名の社員ボランティアが、地元自治体関係者や地域住民とともに、約9,000本のクロマツの苗を植樹しました。



植樹の様子

役職員のボランティア活動

〈みずほ〉は、地域でのボランティア活動が、〈みずほ〉の活動基盤である地域社会との関係を強化し、また、役職員の一体感醸成や社会性向上に寄与すると考え、積極的に取り組んでいます。

みずほボランティア・デー

平成18年度から毎年、グループの役職員がボランティア活動に主体的・積極的に取り組む重点期間として「みずほボランティア・デー」を設定し、地域社会のニーズを踏まえたさまざまな活動に取り組んでいます。

平成26年度は、7月から11月にかけて19カ国・61都市で、〈みずほ〉の社員とその家族等、約5,100人が活動に参加しました。



国内拠点での活動の様子



海外拠点での活動の様子

〈みずほ〉の金融教育受講者数

平成18年度～
平成26年度累計

約 **41,000** 名

「みずほボランティア・デー」参加者数

平成18年度～
平成26年度累計

約 **14,000** 名